

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム

汗かくメディア特別展

| 2016年受賞作品公開展示 + a |

2016.9.10 | 土 | - 9.25 | 日 |

休館日：9.12(月)、20(火)

公開時間：10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00)

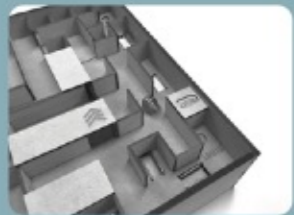


trans-floor! — play ground

IAMASメディアサイト研究会 / 高見安紗美、具志堅裕介、後藤良太、市野昌宏、大石桂堂

体験者の行為に応じて反応する映像を床面に投影し、インタラクティブな空間を作り出します。体験者がセンシング領域に入ると、その位置に応じて床面の映像が、体験者の移動を誘発するように変化します。例えば、モノが逃げたり、音が鳴ったり、誰かと繋がったり…この「動きに反応する床」というメディアを用いて、移動そのものを遊びに変換することを試みます。

IAMASメディアサイト研究会 / IAMASメディアサイト研究会は、IAMASの在校生、卒業生、教員で構成されたプロジェクトチームです。今回は在校生・卒業生メンバーによる「遊び」をテーマにした作品を展示します。



A Mazeing!! からくりプロトタイプズ

「アナログな遊びの魅力をデジタルによって高める」をコンセプトに作成した、Arduinoを用いた迷路です。扉や迷路の壁を移動させるスイッチを操作させてゴールを目指します。ビー玉を転がして遊ぶ迷路とよく似ていますが、違うのは迷路の形が変わることや玉がワープすることです。遊びとしては昔からあるものですが、様々なギミックが予想外の驚きや楽しさを感じさせる作品です。

からくりプロトタイプズ / 名古屋工業大学「デザイン思考教育プロジェクト」による学生ユニットです。建築・デザイン工学科 デザイン系 鈴木康大 情報工学科 知能系 / 坂元隼子



あまもり スイッチ

何もない空間の特定の場所にバケツやタライなどの物を持っていくと音が落ちた音がします。壁の落ちる場所を探し楽しさや、見つけた時の驚きを感じてください! 受ける物によって音や水滴の落ちてきた感覚の違いも楽しめます。

スイッチ / スイッチ(Switch)は名古屋造形大学デジタルメディアデザインコースの教員・学生による新たなメディア表現を創造するユニットとして2008年に結成。コースの学生が入れ替わりで参加できるようにメンバー構成はプロジェクトによって流動的に行われ、作品制作の時期や発表の時期によりそれぞれの作品に関わるメンバーが異なるのが特徴。現在のメンバーは外山貴彦・石井翔・佐藤佑一・田島聖紗・羽根明子・東真由・安江佳葉

●過去の受賞作家による特別展示

※過去の受賞作家による展示は入れ替わります。詳細はホームページでお知らせします。

村上泰介(2007)【愛知産業大学・村上研究室ゼミ生】、呂ひろし(2008)、定園伸吾(2009)、河村るみ(2011)、MoonWalkers(2013)【立命館大学映像学部望月研究室】、はんだコトコ(2013)

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



アートと遊びと子どもをつなぐ
メディアプログラム

汗かくメディア特別展

| 2016年受賞作品公開展示 + a |

2016.9.10 | 土 | - 9.25 | 日 | 休館日：9.12(月)、20(火)

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

公開時間：10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00)

入場料：中学生以下無料、その他300円

主催：愛知県児童総合センター
(公益財団法人 愛知公園協会)

祝・10回

愛知県児童総合センターが開館した1996年に、「アートと遊びと子どもをつなぐプログラム」の公募がはじまりました。2002年に愛知万博のための休館により公募は中断されたのですが、2006年の再開館後、「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム～汗かくメディア」として公募が再開され、今年で10回目となります。今回は「汗かくメディア2016」の受賞作品三点の公開展示とあわせて、過去の受賞作品の中から選抜された作者による作品も展示します。また過去10年間の全受賞作品を紹介するバナーの展示もあります。愛知発「世界ではじめての遊び」の10年間のあゆみを実感してください。

Aichi Children's Center

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol.

2016 秋 25

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム

汗かくメディア特別展

| 2016年受賞作品公開展示 + a |

春季特別企画

「dot・点 — ここからはじめる」

子育て支援の20年

子育てのおはなし 第25話

募集とお知らせ

愛知県児童総合センター

愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL 0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
http://www.acc-aichi.org/

開館時間 = 9:00 - 17:00
入場料 = 中学生以下無料、その他 300円

9月の休館日 = 5, 12, 20, 26日
10月の休館日 = 3, 11, 17, 24, 31日
11月の休館日 = 7, 14, 21, 28日
12月の休館日 = 5, 12, 19, 29, 30, 31日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から 車で… 東名高速・日進JCT 経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
機関で… リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 足助方面すぐ 愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



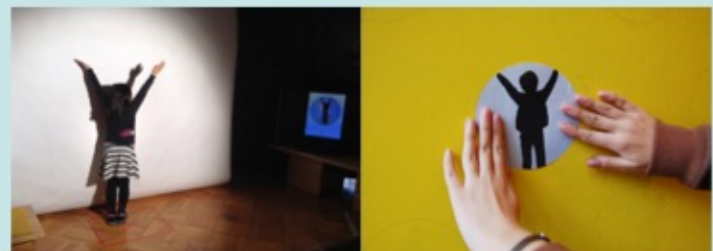
……… ここからはじめる ……

「点」をテーマに、ドットの気分になったり、小さい点をとる光に驚いたり、身近なものから点を発見したり、「点」から始めるあそびが集まりました。



このあそびは平成28年度春季特別企画として実施しました。

アーティストの福永照久さんと2つのプログラムを考えました。



●ドットキブン

シルエットになって光のドットの中になった気分です。シルエットの写真を撮って館内を飾ります。



●ドットロード

黒い布に穴をあけて空中回廊にとりつけ、ドットのトンネルをつくります。



●たべ点

丸いゼリーにドットの模様をつけてたべます。



●あつまっ点

点の陣地をとりあうチーム対抗のあそび。

モールスハンティング			
モールス符号	文字	モールス符号	文字
.....	あ	な
....	い	の
... ..	う	は
.. . .	え	ひ
. . . .	お	へ
. . .	か	ま
. .	き	み
. .	く	む
. .	け	め
. .	こ	や
. .	し	ゆ
. .	ず	よ
. .	せ	ら
. .	そ	り
. .	た	る
. .	ち	る
. .	な	わ
. .	に	ん
. .	ぬ	
. .	ね	
. .	の	
. .	を	
. .	ら	
. .	り	
. .	る	
. .	を	
. .	ん	

●モールスハンティング

ひらがなを点と線で表したモールス符号を探し、言葉にします。



●点の絵



●ドット・タウン



●ドット・モアレ



●てんてんハウス



●ドット・スタンプ



●ドット・ピン

子育て支援の20年

あのねっとクラブ

子育てひろば「あのねっとのへや」

トコトコプログラム

親子の日「家族のうれしい顔」

看護師のプチセミナー

祖父母カアップ事業

子育てフェスタ

お父さん応援プログラム

イクメン応援キャンペーン

子育て情報誌「あのねっと」

愛知県児童総合センターの持つ大きな機能の一つに「子育て支援」があります。開館してからの20年間、少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化など、家庭や家族を取り巻く社会状況の変化のなかで様々な事業を実施してきました。親子の時間を楽しむことに主眼をおいた遊びのプログラムや子育てセミナー、情報誌の発行やメディアを使った啓発番組、フォーラムの開催や子育て環境の調査など、子育てをしている父親や母親、祖父母、これから子どもを持つであろう若い世代、子どもに関わっている人たちなどを対象としていますが、もちろんその目録の先には子どもたちがいて、すべての子どもの心と体の健やかな育ちを願ったものばかりです。これらの事業を実施するために、児童総合センターという施設の枠に収まらず広く外に出て様々な組織・機関、企業、人とつながりながら事業を実施してきたことは、児童総合センターの財産になっています。これからもすべての子どもの幸せを願い、子どもに寄り添うような形での子育て支援を続けていきたいと思っています。

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第25話

自分の感覚を信じる

5か月の子どものお母さんと会いました。「離乳食が進まない」とのことです。「おかゆは食べるのだけれど、バナナを食べない。友達に聞いてもみんなバナナを喜んで食べるというのだけれど・・・」。子どもは、丸々と元気そうで、良く動き、好奇心旺盛のキラキラ瞳をしています。体重も十分です。「バナナを食べないこと気になる?」と話していくと、「離乳食が十分でない」と8か月ごろに貧血になるといわれた。体重も動きも標準なのに、食べるものが標準でないのが気になる」とのことです。「8か月までにはこの子の人生が1.5倍に

なるし、日々変わっていくのがこのころ。その子その子のペースがあると思うよ。それに何より、こんなに元気で機嫌だよ。『世の中面白い!』って言ってるみたい。今日がダメならまた明日ってやっていけばいいと思うよ」と話したのですが、たくさんの情報にお母さん方の迷いは多くなっているようです。子どもが元気で機嫌よくしていれば大丈夫! たくさんの情報はあっても、お母さんお父さんが自分の目で見て、肌で感じる感覚をもっとも信じてもいいんじゃないかなあと思ったことでした。

募集とお知らせ

「トコトコプログラム」

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが「一緒に楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

- 9/21(水) 14:30～ つないであそぶ
- 9/28(水) 14:30～ えのくであそぶ
- 10/5(水) 14:30～ 音であそぶ
- 10/12(水) 14:30～ 土であそぶ
- 10/19(水) 14:30～ 秋みつける・あそぶ
- 10/26(水) 14:30～ おぼけであそぶ
- 11/2(水) 14:30～ えほんであそぶ
- 11/9(水) 14:30～ 土ねんどであそぶ
- 11/16(水) 14:30～ たべるとあそぶ
- 11/30(水) 11:00～ つみきであそぶ

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親
定員：15組程度
参加費：無料(入場料300円が必要)
受付：プログラム開始30分前から
1Fインフォメーションにて先着順



トコトコプログラム「つないであそぶ」



トコトコプログラム「秋みつける・あそぶ」



お父さん応援プログラム「閉ざされた児童総合センターからの脱出」



移動児童館「ねんどであそぶ」

「移動児童館・ゆめたま号」9月～11月の開催地決定

児童総合センターのあそびを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒にあそぶプログラムです。あそびをとおして、たくさんのお出掛けを楽しんでいます。

- 開催地：
- 9/8(木) 常滑市 社会福祉法人 清心会 幼保連携型 認定こども園 風の丘こども園
 - 9/28(水) 田原市 地域子育て支援センター なのはなルーム
 - 10/12(水) 津島市 津島市生涯学習センター 体育館
 - 10/21(金) 東浦町 森岡児童館
 - 11/2(水) 岩倉市 第四児童館
 - 11/12(土) 清須市 桃栄児童館
 - 11/16(水) 安城市 中部児童センター
 - 11/29(火) 幸田町 上六薬子育て支援センター

第6回 元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん

日時：12/4(日) 10:00～16:30(予定)
会場：あいち健康プラザ(愛知県知多郡東浦町)
参加費：無料

児童館・児童クラブ職員
愛知県内の児童館が一堂に会する「児童厚生員による児童厚生員のための」研究大会です。子育て、子育てを支援する活動者のスキルアップ、県内の児童館を中心とした関連機関のネットワークの強化、県内の児童館活動をさらに発展・活性化させることなどを目的としています。

親子のみなさん

「出前じどうかん—あそびばー—」10:30～15:30(予定)
今年はいち健康プラザの展示ホールに「出前じどうかん—あそびばー—」がオープンします! 児童館・児童クラブのイチオシのあそびが大集合。身近な材料を使っておもちゃを作ったり、ゲームに参加したり、パフォーマンスを楽しんだりすることができます。愛知県内の児童館・児童クラブの紹介コーナーもあります。お住いの近くの児童館・児童クラブをぜひ探してみてください。

問合せ：元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん 実行委員会 事務局(愛知県児童総合センター内)
公式サイト：<http://www.acc-aichi.org/2012blog/>

※プログラムは予告なく変更場合があります。詳しくはHPをご覧ください。